

●今号で終えるかどうか悩みながら書いた但馬の明治県道。結局積み残しが生じて中編になってしまいました。次号後編はさらに見どころのない記事になりそうな塩梅です……。かといって「兵庫県道を読む」も完成させられるほどの余力もなさそう。メイン記事を一号に2つというのはいろんな意味でしんどいです。どーか生暖かく見守ってやってください。

早く終わらせて昨年秋と今年正月の探索のルポに手を付けないといけない……。どんどん忘れていく。(な)

●地元の郷土史家が自費出版した簡易製本の資料を買い集めている。安価だからこそ私にも買えるだが、労作がこんな価格で良いのか、と心苦しくもある。読むほどに「こんな物が残存していたのか」と新しい発見があるのだが、今では残ってない物件が多く、重ねて悲しい思いをする。(つ)

BEAR TYRE